LCLC-103H□ル

300169

LCLC-103H□胞株は大□胞肺癌（LCLC）由来であり、特に巨大□胞を伴う大□胞肺癌と診断された成人男性患者の胸水から樹立された。この患者は以前に化学療法と放射線療法を受けていた。この□胞株は、小□胞肺癌（SCLC）やある種の神経内分泌腫瘍に典型的に関連する神経内分泌マーカーを部分的に発現している点で特に注目される。特に、モノクローナル抗体RNL-1によって検出される抗原は、LCLC-103H□胞で局所的な表面発現を示し、いくつかの神経内分泌がんで観察されるのと類似している。しかしながら、発現は全ての□胞で均一ではなく、□胞集団内の不均一性を示している。

LCLC-103Hは文献ではPAS（Periodic Acid-Schiff）陰性と記載されており、他の肺癌サブタイプと区別されている。LCLC-103Hはまた、その組織病理学的プロフィールの重要な特徴である顕著な間質形成を示す。さらにこの□胞株は、□胞増殖と腫瘍形成に重要な役割を果たすがん原遺伝子 MYCを過剰発現することが知られている。免疫 □胞化学的研究により、LCLC-103HはSCLCに見られる神経内分泌分化の完全なスペクトルを示さないことが示された。これは、抗体 RNL-2やRNL-3によって同定されるような他の神経内分泌マーカーとの反応性を欠くためである。この区別は、 LCLCと、より侵攻性が高く、一般的に特定の化学療法剤に対してより高い感受性を示す SCLCとを区別するために極めて重要である。LCLC-103Hのユニークな発現プロファイルは、大 □胞肺癌の分子学的、免疫学的特徴および神経内分泌の特徴との重複を研究するための貴重なモデルとなる。

概要

□明

LCLC-103H□胞株は大□胞肺癌（LCLC）由来であり、特に巨大□胞を伴う大□胞肺癌と診断された成人男性患者の胸水から樹立された。この患者は以前に化学療法と放射線療法を受けていた。この□胞株は、小□胞肺癌（SCLC）やある種の神経内分泌腫瘍に典型的に関連する神経内分泌マーカーを部分的に発現している点で特に注目される。特に、モノクローナル抗体RNL-1によって検出される抗原は、LCLC-103H□胞で局所的な表面発現を示し、いくつかの神経内分泌がんで観察されるのと類似している。しかしながら、発現は全ての□胞で均一ではなく、□胞集団内の不均一性を示している。

LCLC-103Hは文献ではPAS（Periodic Acid-Schiff）陰性と記載されており、他の肺癌サブタイプと区別されている。LCLC-103Hはまた、その組織病理学的プロフィールの重要な特徴である顕著な間質形成を示す。さらにこの□胞株は、□胞増殖と腫瘍形成に重要な役割を果たすがん原遺伝子 MYCを過剰発現することが知られている。免疫 □胞化学的研究により、LCLC-103HはSCLCに見られる神経内分泌分化の完全なスペクトルを示さないことが示された。これは、抗体 RNL-2やRNL-3によって同定されるような他の神経内分泌マーカーとの反応性を欠くためである。この区別は、 LCLCと、より侵攻性が高く、一般的に特定の化学療法剤に対してより高い感受性を示す SCLCとを区別するために極めて重要である。LCLC-103Hのユニークな発現プロファイルは、大 □胞肺癌の分子学的、免疫学的特徴および神経内分泌の特徴との重複を研究するための貴重なモデルとなる。

ティッシュ	肺
病気	大□胞がん
転移部位	胸水

同義語

- LCLC103H
- Large Cell Lung Cancer-103H

分類

生物	人間
セックス	男性
成長特性	アドヘレント
バイオセーフティレベル	1

特徴

形態学	プリーモ
倍数性	異数体
倍増時間	26時間

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

識別子

引用

LCLC-103H (Cytion カタログ番号 300169)

NCBI 納税者番号	9606
セロサウルス	CVCL_1375

取り扱いと飼育

培地

RPMI1640、w: 2.0mM安定グルタミン、w: 2.0g/L NaHCO3（Cytion article number 820700a）

培養雰囲気	37°C、5%CO2、加湿雰囲気。

サプリメント

培地に10% FBSを加える

解離試薬	アキュターゼ

継代培養

接着した□胞から古いメデュームを取り除き、カルシウムとマグネシウ ムを除いたPBSで洗浄する。T25フラスコでは3-5ml、T75フラスコでは5-10mlのPBSを使用する。次に、T25フラスコでは1-2ml、T75フラスコでは2.5mlのアキュターゼで□胞を完全に覆う。室温で8-10分間インキュベートし、□胞を剥離させる。インキュベーション後、□胞を10mlの培地と静かに混合して再懸濁し、300xgで3分間遠心する。上清を捨て、□胞を新しいメデュームに懸濁し、新しいメデュームの入った新しいフラスコに移す。

播種密度	0.5～1×10⁴□胞/cm²
流体の更新	週2～3回
解凍後の回復	□胞は24時間以内に凍結から回復する。

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染は、PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
□菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、□胞培養物は毎日目視検査が行われる。

凍結培地	凍結保存培地としては、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（ FBSを含む）＋10%DMSO、または回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含む CM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150～-196°Cの気相液体窒素に入れる。80°Cでの保存は、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

配送条件

凍結保存された□胞株は、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

寄付者

ドナーの年齢	61年
民族	白人

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣は不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中または液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中には、フェイスマスクまたは安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これは、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオンは、製品の品質と生存率を保証します。
当社では、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、□胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／または製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳□については、<a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

物質移転契約書の締結が必要	Yes

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB